

ゴールデンウィークにおける家畜防疫対策の強化について！！

韓国や中国を始めとする東アジア地域で口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生が継続しています。また、ロシアでは昨年3月以降、中央シベリア及び西シベリアでアフリカ豚コレラの発生が継続しており、東アジア地域への侵入のリスクが高まっています。

これからゴールデンウィークを迎え、海外との人・物の交流が盛んになり、国内への病原体の侵入のリスクが高まります。家畜飼養者の皆様は、発生地への渡航は慎み、農場入場者の渡航歴を確認してください。また、飼養衛生管理基準を厳守し、防疫対策の徹底をお願いします。

◆万一渡航される場合は、以下の点に留意してください。

- ・家畜市場、農場、と畜場などの畜産関連施設へは立ち入らない。
- ・動物との不用意な接触を避ける。
- ・肉製品等を日本に持ち帰らない。
- ・帰国の際には、空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り指導を受ける。

◆渡航した際の、帰国後の留意事項

- ・帰国後1週間は、衛生管理区域に入らないこと。
- ・海外で使用した衣服や靴等を畜舎付近に持ち込まないこと。

◆衛生管理区域への病原体侵入防止について

- ・衛生管理区域に必要な人を入らせず、また、不要な物を持ち込ませないこと。
- ・万一、人が立ち入る場合や物が持ち込まれる場合は、洗浄・消毒等実施し、衛生管理区域へ病原体を持ち込まないようにすること。



飼養衛生管理基準の再徹底をお願いします。

～家畜に異常を認めたら、直ちに当所に連絡願います～